

共同利用AI-OCRによる帳票処理事務の業務効率化

提案者	株式会社電算		
実施地域	佐久市、小布施町、青木村	分野別モデル	AI-OCR
事業概要	AI-OCRを利用し帳票処理事務の業務効率化を実施。またシステムの共同利用により大幅に導入コストを削減。これにより低コストで業務時間の短縮を実現。		

課題

- 申請書や出先の勤怠情報などの紙媒体から、各業務システムへ取込を行うための電子データへの変換・入力作業に多くの時間や人件費を要している。
- 多くの紙媒体について、保存場所の把握や保存年限に従った廃棄処理が煩雑となっている。
- AI-OCR及び文書管理システムなどの導入も検討しているが、単独団体での導入はコストが高額となってしまう。

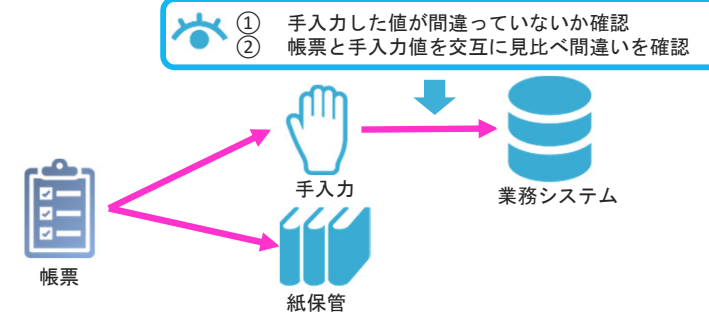
取組

- AI-OCRにて、紙媒体の帳票をテキストデータ化し業務システムへの連携を行うことにより、職員の入力作業の削減を図ります。
- 紙帳票をPDF化することでペーパーレス化の推進を図り、庁内の電子データでの管理・運用を促進します。
- 共同利用型AI-OCRの共同調達を前提に、帳票データの入力作業や確認作業等の業務プロセスを見直し、運用の最適化、帳票の標準化を図ります。

成果

	従来	導入後	
帳票処理事務	約280時間/年	約200時間/年	約30% 工数削減
共同利用による導入コストの削減	初期：約11,800千円 月額：約315千円	初期：約3500千円 月額：約100千円	約70% コスト削減
各自治体の業務プロセス及び帳票レイアウト	各自治体で異なる	運用の最適化及び帳票の標準化を実現	標準化 推進

従来



導入後

